

2011年8月24日

お問い合わせへの回答

仏壇公正取引協議会準備委員会

《問》

7月6日の公正取引委員会からの質問への回答文書で、準備委員会に登録社数は870社で、そこにDMを出されたという状況であることに基づき、業界の総数はどのくらいなのか、

《答》

1. 平成19年商業統計（経済産業省）（確報）の「第4表 産業分類細分類別、商品（小売）別の事業所数及び年間商品販売額」の「5914 宗教用具小売業」の「延事業所数」は5,447である。しかし、事業所の中には、同一者の支店等も含まれており、「宗教用具小売業」であって、「仏壇」を取り扱っていない事業所も含まれている。よって、商業統計からは社数は不明である。

2. 業界に対するDM発送は、業界に詳しい業界紙運営会社に委託して、7000事業所にDMを送った。宛先は、全国の電話帳に仏壇・仏具店として掲載されている事業所と、電話帳に非掲載の業界誌購読者をリスト化したと聞いている。しかし、仏壇を販売せず、お線香などの仏具のみを販売する店や、同じ社の支店等も含まれており、また、住所不明でDMが戻ってきたものもあり、社数は不明である。

3. なお、仏壇本体の販売金額については、メーカー、輸入者、卸事業者などから、業界では、ほぼ正確な販売金額が知られており、市場全体における参加事業者のシェア 58.6%と推計している。

以上

(参考) 2011年7月6日回答

1. 現在の参加事業者数 870社

2010年8月中旬より公正取引協議会の設立を目指し、全国6カ所での説明会開催ならびに公正取引協議会準備委員会への登録を業界に対してDM等で呼びかけて参りましたが、2011年6月30日までの集計における公正取引協議会準備委員会の登録者数は以下の通りです。

登録社数 (括弧内は2010年10月末時集計) 870社 (603社)

2. 市場全体における参加事業者のシェア 58.6%

上記登録者における2009年または2010年決算時における仏壇売上 (括弧内は2010年10月末集計)
69,311百万円 (64,297百万円)

※ 仏壇売上金額は業界調査を元に、各社の業容・地域性などに照らし、売上総額に対しての仏壇 売上金額の合計金額となっています。

仏壇市場を含む宗教用具市場の規模は平成19年(2007年)商業統計表品目編(経済産業省)によれば262,799百万円。全日本宗教用具協同組合が今夏行った全国アンケート調査によれば(サンプル数489・回答数464)、売上に占める仏壇本体の平均売上構成比は46.2%。アンケート回答の中には仏壇売上ゼロという回答もあり(仏具メーカーなどと思われる)、市場全体に占める仏壇の売上構成比率は50%であると思われます。

一方、宗教用具市場はリーマンショック以降金額ベースで10%前後の落ち込みがあると思われ、2009年時点での宗教用具市場規模は236,519百万円(=262,799百万円×0.9)、仏壇本体の販売金額は118,259百万円(=236,519百万円×0.5)と推定されます。

6月30日までの準備委員会登録業者の仏壇販売金額の合計は業界調査を元に69,311百万円であり、仏壇販売市場規模118,259百万円の58.6%(69,311百万円÷118,259百万円)を占めています。

注：各社のシェアにつきましては、調査の際に先様の了解を得ておりませんので控えさせていただきます。

